

輝け！

しるやま

第141号

城山高校便り
編集委員会〒781-5310
香南市赤岡町1612番地
高知県立城山高等学校
TEL 0887-55-2126
FAX 0887-55-0170

ひなまつり 進級おめでとう！

校長 山下 英雄

3月1日をもって本校を卒業される38名の3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんにとって城山高校で過ごした3年間はどのような意味があったのでしょうか。入学した当時は思い出してください。どのような思いで城山高校に入学してきましたか。入学式の時、体育館の2階に飾ってある「未来」の文字を振り返ってもらい、過去は変えることはできませんが、未来は現在をどう生きるかによって変えることができますと話したことを覚えていますか。皆さんと共に過ごした3年間を振り返ってみると、決してすべてが順調だったとは思いません。しかし、この3年間で皆さんは随分と成長したように思います。本校を卒業していく皆さんに、少しでも今後の人生の指標になればと思い、雑文にはなりますが次の文章を送ります。

論語に、弟子の子貢が師匠である孔子に「一生かけて行っていくことを一言でいうと何ですか」と問うと、孔子は「恕（じょ）だ。自分の望まないことは他人にはしむけないことだ」と答えています。恕を辞書で引くと、「ゆるすこと。おもいやること。いくしむこと」などとその意味を書いています。孔子は「人が一生かけて行っていくことは、相手を許し、相手を思

いやる気持ち育てていくことだ。そして、自分が嫌だと思うことは相手にしないことだ」と言っているのです。

もう一つ、論語から引用します。「徳は孤ならず。必ず鄰あり」という言葉です。わかりやすく口語訳すると「徳（道徳）のある人は孤立しない。必ず親しい仲間、応援してくれる隣人ができる」ということです。

城山高校の校訓は「教養ある人たれ」です。「恕」の心をもって他人をおもいやり、「徳」をもって他人と接することが出来る人は、間違いなく「教養のある人」です。教養とは勉強ができることや知識が豊富なことではありません。城山高校の卒業生として、校訓である「教養ある人たれ」を胸に刻み、今後の人生を送っていくてください。

次に、回復力とか復元力とかと訳されるレジリエンスという言葉についてです。同じ境遇であっても、それを嘆く人と嘆かない人がいます。レジリエンスの低い人は自分の境遇を嘆き、レジリエンスの高い人は現在ではなく未来の自分を想像し、現在の境遇に屈することはありません。「あの人はレジリエンスが高い人ですね」といった使われ方もしますが、その場合は「打たれ強い」とか「逆境にあっても屈しない、素早く立ち直る」といった意味でつかわれています。

では、レジリエンスの高い人に共通することとは何かといえば、今の困難を見ているのではなく未来の自分の姿、あるべき理想の姿を見ていることです。困難な状況を自ら動いて変えようとし、未来の自分に明るい希望を持っていることです。皆さんはこの世に生を受けてまだ20年足らずですが、今までは楽しいこと、うれしいことばかりではなく、人には言えない悲しいことや辛いこと、苦しいことにも出会ってきたと思います。それらのことも自分自身に誇りさえ持つていけば全てが意味あるものになります。自分自身に誇りを持ち、自分自身の生き方に誇りを持つていけると、悲しいことや辛いこと、苦しいことであっても、そこでへこたれることはありません。自分自身に誇り持つてさえいければ、人生には無駄なものが一つもなくなります。前さへ向いていけば、必ず人生は開けてきます。今の困難に目を向けるのではなく、未来を見ることで、レジリエンスの高い人間として成長してください。

「恕」、「徳」、「レジリエンス」、そして「教養ある人たれ」。どれか一つでも、皆さんの心に引っ掛かり、今後の人生にプラスになれば嬉しいことです。

次に、1年次生、2年次生の皆さん、ご進級おめでとうございます。皆さんはそれぞれ1学年上の学年に上がり、4月には新入生が城山高校に入学してきます。皆さんには、城山高校の先輩として、良い手本となり、新入生をより良い方向に導いてもらいたいと思います。校風はそこに通う生徒自身によって作り出されていくものです。一人一人が希望する進路を実現させるため、基礎基本の学力を習得することはもちろんですが、規律や礼儀を守り、社会の一員として自覚と責任を持った行動を期待しています。学校生活で、自分自身の良いところを見つけ、

社会の中で自分自身の役割を果たしながら、自分らしい生き方をしていく力を身に付けてください。私たち教職員は、皆さんが将来の社会の形成者となるよう努めていきます。

結びになりますが、保護者の皆様、また本校に關係する皆様の日頃のご支援に対してお礼申し上げますとともに、今後とも本校の教育活動にご理解をいただき、更なる発展のためにご指導を賜りますようお願い申し上げます。

祝辞

PTA会長 中元 浩史

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませす。

また、保護者の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。さて、卒業生の皆さんにとって、城山高校で過ごした3年間はどんな日々だったでしょうか？まだ見ぬ同級生や先生に緊張を感じスタートさせた学校生活には、日々の学習や部活動、文化祭や体育祭、修学旅行といった沢山の思い出が胸に詰まっていることでしょう。私は、城山高校に関わって2年になりますが、本校の人と人との関わりや、物を大切に育てる学習環境、そしてここで学ぶ生徒たちにとっても魅力を感じています。

ここで皆さん、3年間の城山高校での生活を思い出してみてください。皆さんの記憶に新しいところでは、昨年の体育祭で「銀鱗躍動」というスローガンをもとに、男女混合で挑んだ競技（パンの早食い&ラムネの早飲み）や、力勝負の競技（綱引き、タイヤ奪い）、意思統一が必要な競技（大縄跳び・二人三脚）など様々な競技に各団・各個人が真剣に取り組んでいる姿がとても輝いており印象に残りました。また、

天候不安定の中プログラムを速めて進行しても、子どもたちの臨機応変にプログラムを処理していく姿はとても逞しく見えました。

2年次生の時の文化祭は覚えていますか？「協同協心」というテーマのもと、各クラスが工夫をこらした発表や販売などがあり、私たちPTAもお寿司やおにぎり等の販売で参加させていただきました。また、校舎内に飾られていたTシャツアートは個性の詰まった作品が多くとても印象的で皆さんの思いが伝わってきました。

1年次生の時の体育祭は覚えていますか？

「天真爛漫（自分の限界を超えていけ）」というスローガンのもと、各団が優勝目指して一丸となり、綱引きや学年対抗リレーの競技や、少ない人数の中、準備やいろんな係りに取り組んでいる姿に城高生のパワーと感動を感じたというふう聞いています。

3年間の城山高校生活を振り返ってみてください。

保育実習や社会福祉実習、心の冒険教育や課題別研究発表会。ボランティア活動や農園作業、学校見学や事業所訪問の取り組みなど、様々な学習活動があったと思います。その、学習や学校行事、クラブ活動や友人関係など、充実感や達成感を味わうことができたこともあれば、その一方で失敗して胸が痛くなるような辛い思いをしたこともあったのではないのでしょうか。しかし、それらの経験は、何ひとつ無駄ではないと私は思っています。これから皆さんが生きていく人生や社会環境では、多くの失敗を経験していくかもしれません。

そんな時に覚えていてほしい言葉があります。物理学者でノーベル物理学賞を受賞した、アルベルト・アインシュタインの言葉です。

「Anyone who has never made a mistake has never tried anything new.」

訳は、「失敗を経験した事がない者は、何も新しい事に挑戦したことが無いということだ。」挑戦をするからこそ経験出来るのであって、挑戦しなければ何も経験できません。挑戦する事は知力・体力・気力それに勇気がいり大変ですが、失敗を恐れず、その一つ一つの経験を積み重ねていく事こそが、心の成長と将来への安定に繋がっていくと思います。

卒業生の皆さんは、城山高校で学んだことに自信と誇りを持ち、人との繋がりを大切にして頑張ってください。心より応援をしています。また、城山高校の同窓生の立場として在校生をはじめ、入学してくる生徒達の成長を見守ってください。よろしく願います。

最後になりますが、今日の良き日を迎えるために、3年間、親身になってご指導いただきました校長先生をはじめ、諸先生方には深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。皆さんが、愛情を込めて育んでくださった保護者の皆様に対する感謝の気持ちを忘れずに、さらに大きな人間へと成長していけることを願い、私たちPTAも精一杯の応援をすることを約束して、お祝いの言葉とさせていただきます。

卒業生の皆さんへ

校友会会長 北本 洋介

卒業生の皆さん、晴れのご卒業おめでとうございます。又、ご家族の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。心からお喜び申し上げます。

皆さんは、高等学校の課程を修め、新たな世界へ旅立とうとしています。令和に元号が変わって最初の「城山高校」卒業生です。

そして、今年は日本で2回目のオリンピックが開催されます。2020東京オリンピック・パラリンピック開催年にご卒業され、進学や就職されます事は、皆さんにとって生涯記憶に残る年になると思われまふ。

城山高校の先輩・校友会の会長として、社会へ羽ばたこうとしている卒業生の皆さんへ、キリンビール高知支店へ異動された方のお話をします。

あなたが生まれる10年前、キリンビールの本社の販売施策の立案という、花形の仕事をしていた田村潤さんは、平成7年45歳の時、当時キリンビールでは、販売成績が振るわない全国最下位クラスの高知支店への異動を命じられました。

高知支店は、全国でも最下位クラスで、「お荷物」とまで言われていた事から、だれが見ても左遷だ。「田村はもう終わり」と周囲から言われていました。

成績の悪い支店だから暗い雰囲気かと思いきや、意外と明るかった。その理由はすぐに分かった。みんな人のせいにしてるんです。

「本社の指示通りにやって売り上げが上がるのは本社が悪い。」「自分のせいじゃない。」「負けても平気。」「誰かが何とかしてくれる。」「そういう典型的な負け癖のついた集団になってしまっていた。

しかし、田村さんのアイデアで「高知が一番」というキャッチコピーの新聞広告を出したら、非常に反響が大きく、高知県民の心をとらえたのです。そして、わずか3年で県内シェア首位を奪回したそうです。

その後、四国地区本部長、東海地区本部長、本社営業本部長となり、2009年全国シェアでトップに返り咲くことになりました。

今年度卒業される皆さんが、地元食材を使っ

た商品開発を通して食に関わる若い人材を育てる目的で「土佐赤岡塩じゃこせんべい」を商品化し、全国で高校生が競う【商業高校フードグランプリ】に中四国代表として、東京で宣伝販売活動されました。

皆さんのアイデアと行動力がもたらした結果、全国へ「城山高校」を発信することができたと思います。

この時、「城山高校関東校友会」のメンバー数人が、「そりゃ、城山高校の開発した商品は買わんといかん」と、沢山買い上げたとの情報がありました。

卒業される皆さんは、城山高校校友会の会員となられます。皆さんが、関東や関西に行っても城山高校校友会組織がありますので、先輩卒業生との交流をもっと深めて頂きますようお願いいたします。

周囲の人への感謝と思いやりをもって、社会でより豊かに、より幸せに生きていかれますよう願っております。

皆さんの今後のご活躍とご健勝をお祈りするとともに、ご卒業のお祝いの言葉といたします。



表彰

令和元年度高知県教育長・高知県高等学校PTA連合会長表彰受賞

去る2月1日(土)令和元年度高知県高等学校PTA連合会功労者表彰式が高知会館にて開催されました。その中で香長地区から本校前PTA会長の寺田歌織さんが高知県教育長・高知県高等学校PTA連合会長表彰を受賞されました。

寺田前会長は、平成28年度から29年度の2年間PTA会長職を務め、平成30年度はPTA副会長として、PTA活動の活性化に向けて尽力されました。

平成28年度には、創立70周年記念事業となる体育祭、文化祭、記念式典、記念講演、絵金歌舞伎総見などに、PTA会長として保護者へ参加を呼びかけ、PTA役員間だけでなく城山高校の保護者との和を広めました。特に70周年記念文化祭では多くの保護者と協力し、PTA販売を盛り上げ、そのつながりにより卒業式や卒業祝賀会には多数の卒業保護者や校友会役員の参加と協力を得ることができました。平成29年度には、地域とのつながりやクラブ活動の活性化等を意識して、生徒の地域ボランティア活動や町内駅伝大会への協力、

また、地域防災避難訓練への取り組みにもご協力をしていただきました。平成30年度は副会長の立場として、新会長の助けて、PTA総会や進路講演会への保護者参加率の向上に尽力されました。本当に3年間お疲れさまでした。



3年目の先生からメッセージ 「贈る言葉」

3年Aホーム・主任 柏木 妙

3Aの皆さん、ご卒業おめでとうございます。1年前、教室で皆さんと初めて顔を合わせた日を今でも思い出します。話す人の方を向いて真面目に聞いてくれている姿がとても好印象でした。また、私自身、昨年初めて城山高校にきて不慣れなところもありましたが、皆さんがホームや授業でサポートをしてくれたこと、とても感謝をしています。ありがとうございました。介護職員初任者研修や施設実習など忙しい中でも笑顔と元気を忘れない3Aと過ごした時間は忙しくも楽しい日々でした。

この1年間、進路に向けて立ち止まって悩んだり、高校生活を振り返ったり、自分を見つめる時間が多かったのではないのでしょうか。面接の準備では、自分で考えていることを相手に伝えることの難しさもあったと思います。皆さんと面接準備をする中で、皆さんの優しさや将来への仕事に対する思いなどが伝わってきました。ときには、自分の考えや思いを丁寧に伝えることを大事にしてください。

さて、4月からは、新しい人との出会い、新しい場所での生活が始まります。初めはこれまでと違う生活に戸惑うこともあるかもしれませんが、場所や人が変われば、考え方やルールが違ふこともあります。変化を恐れず、まずは、知ること、良さを見つけ認めること、そして、感謝することを忘れずに、自分自身の視野を広げ成長し続けてほしいと願っています。

最後に、皆さんの人生が、幸多いことを願う贈る言葉とさせていただきます。

3年Aホーム・副主任 弘田 美佳
ご卒業おめでとうございます。

3年間を振り返るとどのような光景が思い浮かぶのでしょうか？

あの日の君たちは何をみつめ、何を感じ、何を学んだのかと。

これまで私は、「めんどくさい」「できない」「しらない」という言葉を皆さんからよく聞きました。それらの言葉であらゆることを台無しにしないでください。「できない理由」を考えるのではなく「できる理由」を考えてください。人生は「学び」と「挑戦」と「成長」の繰り返しです。1週間後、1日後、1時間後、いつも「学び」と「挑戦」と「成長」の機会を自ら用意して生きていってください。

最後に一言、皆さんと出会えてよかったです。ありがとうございました。

3年Bホーム・主任 安藤 葉子

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

皆さんの授業を初めて担当したのは2年次生の4月でした。包丁の握り方やきゅうりの持ち方から実技指導はスタートし、きゅうりも切れるようになり、保育検定も含め全員が合格できたことに成長を感じながら、来年はこのクラスの主任なのかなあ…と何となく覚悟をしています。

3年になり、始業式後の集会で主任発表があった時、全員が私のことを笑顔で見てくれたので、これは楽しみだ！と感じたことを今で

も覚えています。松岡先生の強力なサポートもあり、良いクラスになったなあ、自慢のクラスだなあと本当に思っています。

家庭系は実習が多だけでなく、外部講師の授業や園児との交流など実践的に幅広く学べたので、卒業後のそれぞれの進路先で活かしてください。これからは、嬉しいこと、楽しいこと、悔しいこと、悲しいこと、辛いこと…いろいろな経験をしたいと思います。そんな時『周りの人・ものに感謝する人』『相手の立場で考え、行動できる人』であるかを振り返ってほしいと思います。周りの人に助けてもらいながら、一歩一歩歩んでもらえたらと思います。

皆さんのご活躍をお祈りいたします。ずっと応援しています！

3年Bホーム・副主任 松岡 俊成

驚きと怒りばかりでした！最初の出会いには。

敬語は使えない、人の話を聞かずしゃべり続ける、自分のしたいことを何よりも優先し好き勝手する（いろんな場面です）等々。一人一人と話をすると、きちんとした考えを持ち高校生らしくかわいらしい生徒ばかりなのに…。進路の決定や卒業ができたこと、これは様々な先生方が大きな愛をもって指導してくれたおかげだと思えます。だから、ある意味君たちは小さくまとまっていけない。その分これから苦労する面も多いとは思いますが、それだけ伸びしろも大きい。5年後、10年後？いつか成長した君たちと出会う日を楽しみにしています。幸せがたくさんたくさんみんなの人生に訪れますように。

2年Cホーム・主任 矢野 卓哉

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。Cホームの担任として2年、あつという間に過ぎ去ったような気がします。この2年間で振り返ってみると、文化祭、体育祭、ホームマツチ、修学旅行、ホームデーなど楽しかったことを多く思い出します。しかし、ただ一つだけ心残りがあります。それは2年次の文化祭です。クラス単独ではなく、学年全体で行ったことになりません。あの時、なんでもいいからクラスで何かをやっていたら、きっと違う達成感やクラスのとまりがあつたかもしれないと思うと本当に後悔の念でいっぱいになります。しかしこれは私自身、何事にもチャレンジしなければならぬという戒めになり成長することができたと思います。また、日常では色々な場面で無理なことを言ってきましたが、不満を表に出すことなく協力し、取り組んでくれたことは感謝の気持ちしかありません。本当に素晴らしいクラスだったと思います。

卒業する皆さんへ贈る言葉です。「壁というのは、できる人にしかやってこない。超えられる可能性がある人にしかやってこない。だから、壁がある時はチャンスだと思っている」。これはイチロー選手の名言です。是非、壁にぶつかり、それを超えられる人物になってください。本当に、2年間ありがとうございました。

最後に卒業生の皆さんが輝ける青春を健康に過ごされるように祈っております。

3年Cホーム・副主任 徳弘 康好

まずは卒業おめでとうございます。

今日という日を無事迎えることができて胸をなでおろしています。皆さんにとって、この3

年間はよかったですか、悪かったですか。

どちらにせよ、皆さんはもう後戻りできない旅路に向かっています。高校までの人生は自分で選択をすることができず、ランダムに決められた役割を演じていたと思います。しかし、これからは皆さん自身が人生の選択をしていくことになります。

これまでの過去を振り切り新しい道に進むのも、これまでの人生を元手に着実に進んでいくのも自らの選択です。その時に自分の決断に後悔しないように、決断を重りとして放棄したりしないように願っております。どうか自分の自由を謳歌してください。

進路内定状況 (令和2年2月20日現在)

進学

吉備国際大学 (社会科学部スポーツ社会学科)
高知学園大学 (健康科学部管理栄養学科)
四国学院大学 (文学部)
四国大学 (生活科学部管理栄養士養成課程)
大阪芸術短期大学部 (デザイン美術学科)
RKC調理製菓専門学校 (調理師科)
高知福祉専門学校 (子ども福祉学科)
高知理容美容専門学校 (美容科)
高知情報ビジネス&フード専門学校
(調理経営学科) (会計ビジネス学科)
(情報システム学科)
(ゲームクリエイター学科)
高知開成専門学校 (システム開発科)
高等技術学校 (オートボディ科)
HAL大阪 (ゲーム制作コース)
土佐リハビリテーションカレッジ
(理学療法学科)
平成福祉専門学校 (介護福祉学科)

就職

社会福祉法人 土佐厚生会
高知黒潮ホテル
ホテルマネージメント
インターナショナル株式会社
(ザクラウンパレス新阪急高知)
株式会社 坂田信夫商店
株式会社 精工
株式会社 技研製作所
株式会社 かね岩海苔
株式会社 前川種苗
社会福祉法人 ふるさと自然村 本部
株式会社 サニーマート



学校行事

ホームマッチ

令和元年12月24日 全学年合同のホームマッチが開催されました。

開催種目は体育の部がバドミントン（ダブルス）、6人制バレーボール、そして文化の部がグループによる総当たりにて戦うババ抜き競技。各ホームがそれぞれの分野の代表を選出しホームマッチに挑みました。

各競技の優勝チームはバトミントン 3Cホーム、バレーボールが1Bホーム、ババ抜きは3Aホームとなりました。



ビジネス着こなし教室

1月には、これから進学就職を控えた3年次生に向けてビジネス着こなし教室を開きました。



令和元年度課題別研究発表会

令和2年1月22日(水)に、令和元年度課題別研究発表会を開催いたしました。ご来賓の方々や、赤岡中学校全校生徒や本校保護者が見守る中順調に発表することができました。



社会福祉の授業から

福祉の授業

社会福祉型の生徒が、「救急法」「障害者スポーツ」「手話」「点字」「要約筆記」「レクリエーション」「HUG（避難所運営ゲーム）」の学習を行いました。本コースでは、外部講師をお招きして専門的知識や技術を学んでおり、障害のある方への支援方法や福祉現場で身につけておきたい技術などを学んでおります。

「車いすバスケット」ポッチャ3年次生 (12月17日)2A(1月20日)

3年次生：ポッチャを体験し、障害の重さにかかわらず楽しむスポーツがあることを知りました。障害者と健常者が一緒にできるスポーツの良さを感じることができました。

2年次生：『車いすバスケットを通して障害者について考える』をテーマに授業をしていただきました。

車いすバスケットボールやポッチャを実際に体験し、障害というものについて身をもって理解することができました。その後の講義では、「力」をテーマに、生きていく上で必要な力について考える時間があり、生徒自身の意見を述べることで、自身のプラスに見える力、マイナスに見える力、それぞれを活かすためにはどう意識し、活動していくのがよいかを考えることができました。



「HUG（避難所運営ゲーム）」3年次生

（12月18日）

これは「今朝地震が起きました」という設定で、避難所を運営する立場で考えるゲームです。避難所である学校には、傷病者や妊婦、子ども、高齢者、ペット連れなどの避難者がやってくる。避難場所の区割り以外にも、物資の管理やマスコミ対応、ボランティア受け入れなど次々と現れる課題を短時間で判断し処理しなければなりません。それぞれが2年間学んだ福祉の知識をフル活用しながら、グループで協力して避難所を作っていました。振り返りでは、避難者へ掲示板を使って告知する際、書き方や日時を記すなど、相手の立場で分かりやすく表現する方法を再確認しました。また、他グループの区割りも参考になりました。

今後、生徒たちが今回の模擬体験を生かし、災害時には活動できる人になれるよう願っています。

「要約筆記」2年次生（1月15日）

聴覚障害の特徴や要約筆記の必要性などについて説明を受けた後、要約筆記用のビニール紙に書く練習をしました。二人一組になり、1分間スピーチをする人と要約筆記をする人に分かれ、実践しました。「字を書き間違えてしまう」「まとめるのが難しかった」といった声が聞かれました。生徒は、まとめてわかりやすい字で書くことの難しさを体感するだけでなく、『伝える』ことがより深く考えることができたようです。



「介護食講習」3年次生・2年（1月19日）

コンデンプラザ高知様のご協力をいただき介護食講習会を開くことができました。テーマは「凍結含浸食で食のバリアフリー化」とし、新しい介護食について学び、どのようなものを利用者が食べたいと思う食事に近づけるのかを考えました。

生徒からは、「利用者様が食べている食事を食べ、介護実習先で食事介助をしていた時とは食べてほしいという思いで食事介助をしていたが、おいしくないものはやっぱり食べたくない。」という感想がありました。そこで、見た目や味も重要視した凍結含浸食の製法技術を使った食事との比較をし、「これを食べさせてあげたい。」という声があり、その理由として食感もかなり重要だと感じました。利用者の生活の一部をしっかりと考えることができ、食事が心身ともに充実した日々を送るために重要であることを実感した一日になりました。



「手話」2年次生（1月22日）

高知県聴覚障害者協会の山中睦子先生と、手話通訳者の西田玲子先生を講師に招いて手話講座を行いました。自分自身の日常生活を記入したプリントを活用し、聞こえない生活との比較をしました。また、聴覚障害がある方が日常生活で使っている道具なども見せていただき、聴覚障害がある方のくらしについて理解することができました。実技では、「こんにちは」「ありがとう」といった挨拶や日常会話でよく出てく

ることは、各自の名前の示し方を学び、最後に、覚えてほしい手話「地震」「津波」「逃げる」を学びました。休み時間に講師の先生に手話で話しかけたり、授業後に挨拶などを復習したりするなど、聴覚障害がある方への理解が深まったようです。

「点字」2年次生（1月29日）

私たちの生活の中にある点字を考えた後、点字の基礎を学び、点字板を使って点字を打ちました。五十音や簡単な文章を練習した後に、校内を回り必要と思われる場所を確認し、その場所に点字シールを貼るよう準備をしました。できた点字シールは、後日、事務室前玄関入口やトイレのドアノブに貼ることができました。また、日常生活の中にあるユニバーサルデザインが用いられている商品を提示していただき、視覚障害者の生活にどのように結びついているのかを学びました。点字を打ってみると、打つことよりも読むことが難しいという声があり、指先で点を読む視覚障害者の方の感覚の鋭さに驚いていました。初めての体験ではありましたが、興味を持って取り組み、点字や視覚障害者について理解を深める活動ができました。



「介護技術・合同研修会」2年次生・3年次生（2月18日）

平成福祉専門学校様のご協力により、城山高等学校と室戸高等学校合同の介護技術向上を目的とした研修会を開催することができました。

生徒からは、利用者様のことを考えて、個々に合わせた介護実技を提供するのは難しいという感想や他の学校との交流ができて良かったという声がありました。生徒は介護の難しさややりがいを実感した一日になったようでした。

生活・情報型の授業から

「子どもと文化」3B（1月21日）

マミー・シエスタ研究所代表の吉井正美さんにおいていただき、乳幼児期の子育てについて講義を含む演習をしていただきました。当日は吉井さんの紹介で、香南市周辺の0歳～2歳までの赤ちゃんとお母さんの11組が参加し、妊娠中の生活の様子について、妊婦体験ベストを着用している生徒に教えていただきました。昨年に引き続き2度目の赤ちゃん交流でしたが、この日を大変楽しみにしていて、楽しい時間を過ごすことができました。



部活動紹介

ふくしデザイン部活動

・1月～3月 月2回程度赤岡小学校へ学習支援のボランティアスタッフとして参加
・1月～3月 毎月1回通学路の清掃

サッカー部

・高円宮杯 U-18 サッカーリーグ2019 高知県リーグ
3部 13位（春野高校と合同チーム）
・第49回 成人記念野市町内駅伝大会 一般男子の部 5位
・第33回 赤岡町駅伝競走大会 1部 優勝
（西本大信・竹村正・近田綺来・吉村凜士）
2区 区間賞 竹村正

バスケットボール部

今年度復活を遂げ県体に出場しましたが、その後そろった練習がままならず、現在に至っています。毎日1～2名が自主練習をしている状態ですが、なんとかチームでそろった練習を再開し、来年度の大会出場を目指したいと考えています。

イラストデザイン部

イラストデザイン部は、前回から引き続き、香我美市民館様から依頼を受けた8コマ漫画の制作に取り組んでいます。
1年次生の男子により力強いタッチで作家の安岡章太郎を描いています。

ビジネス研究同好会

ビジネス研究同好会は、資格取得を始め、デザイン制作など個人のスキルアップに取り組んできました。また、香南市の活性化についても取り組み、高知家地方創生アイデアコンテストでは4年連続で本戦に出場することができ、今年には特別賞を受賞しました。そのアイデアの中から生まれた「土佐赤岡塩じゃこせんべい」で【商業高校フードグランプリ】に出場することができました。これからも、香南市活性化のためのアイデアを考えていきたいと思っています。



主な行事予定

- 3月3日(月)～10日(火) 考査Ⅴ
- 3月4日(水)・5日(木) 入試A日程の為 在校生立入禁止
- 3月11日(水) 答案返却 (AM)
- 3月12日(木) 2年就職ガイダンス
- 3月17日(火) 2年企業見学
- 3月19日(木) 後期終業式
- 3月23日(月) 入試B日程の為 在校生立入禁止
- 4月6日(月) クラス発表
- 4月7日(火) 始業式・入学式